

心臓センター

(1) スタッフ紹介

野原隆司 (のはらりゅうじ)

副院長、心臓センター長、内科統括部長、心療内科部長、兼任

学歴：昭和52年 京都大学卒

専門：虚血性心疾患 心不全 運動療法 核医学

資格等：京都大学医学博士 京都大学医学部臨床教授 京都大学連携大学院助教授
京都大学医療短期大学部非常勤講師 日本内科学会認定医 日本循環器学会認定医

評議員：日本循環器学会 日本心臓核医学会 日本心臓病学会 日本心不全学会、日本臨床生理学会、日本冠疾患学会 評議員 日本心臓リハビリ学会理事、NPO法人JHC理事、NPO法人ICDの会顧問

小児部門 部長：渡辺 健 (～3月2009)

専門：先天性心疾患・小児心疾患・胎児心疾患

資格：医学博士・日本小児科学会認定専門医・日本小児循環器学会評議員・
日本小児肺循環研究会幹事・大阪胎児心臓スクリーニング研究会幹事

心臓血管外科担当科長：植山浩二

専門：成人心臓大血管・末梢血管の外科治療

資格：医学博士・日本胸部外科学会認定医・心臓血管外科専門医・心臓血管外科学会国際会員・日本外科学会認定医

副部長：猪子森明

専門：虚血性心疾患・心不全

資格：医学博士・循環器専門医・総合内科専門医

副部長：春名徹也

専門：不整脈・虚血性心疾患・心不全

心血管領域カテーテル・

インターベンション (特に不整脈カテーテルアブレーション)・

ペースメーカー・植え込み型心臓除細動器・心臓同期療法植え込み手術

資格：医学博士・日本循環器学会専門医、日本内科学会認定内科専門医・

植え込み型心臓除細動器(ICD)・心臓同期療法治療(CRT)研修修了登録医

副部長・CCU室長：永井邦彦 (～12月)

専門：虚血性心疾患・不整脈治療・心不全

資格：医学博士・内科専門医、循環器専門医・インターベンション認定医・植え込み型除細動器(ICD)登録医・両心室ペーシング(CRT)登録医・ジョイントグラフトマスター研修修了医

副部長：中根英策

専門：自律神経心臓病学・心不全、運動療法

資格：循環器専門医・内科認定医・心臓リハビリ指導士・ジョイントグラフトマスター研修修了医・ACLS assistant instructor

副部長：宮本昌一

専門：虚血性心疾患・心不全

資格：医学博士・循環器専門医・内科専門医・内科認定医

心臓血管外科副部長：上原京勳（～3月2009）

専門：成人心臓大血管・先天性心疾患・末梢血管の外科治療

資格：心臓血管外科専門医・日本外科学会認定医

連携スタッフ・臨床工学部主任：中島準仁

専門：臨床工学・ME機器・補助循環

資格：臨床工学技士・体外循環技術認定士・ACLS assistant instructor・

連携スタッフ：田中 希

専門：運動療法

資格：健康運動指導士・ヘルスケアトレーナー・心臓リハビリテーション指導士

副部長・リハビリセンター長：大庭宗夫（～11月）

専門：虚血性心疾患・核医学、MR I、C T

資格：医学博士、循環器専門医・内科認定医

レジデント：佐々木健一・安部朋美・伊藤秀裕・福田旭伸

(2) 概要

北野病院の心臓血管外科は2年目に入っています。順調な滑り出しです。心臓血管外科設立による効果は絶大なものがあります。患者さんへの治療面だけではなく、循環器内科の活性化、北野病院各科の連携、地域連携の上でも極めて意義深いものがありました。この心臓血管外科が立ち上がり、救急からリハビリテーションまでの総合循環器科の形式を完成することが出来ました。すなわち、救急対応、CCUでの集中治療、循環器内科、外科での綿密な加療、更にはリハビリテーションを施行して、次の予防医学を考えることが出来ます。あらゆる循環器疾患に対応し、先進医療を心掛け、さらには予防医学を実践する指導的なセンターとなることを夢見て順調な運営がすすんでいます。

a) 経皮的経管的冠動脈形成術（P T C A）とステント植込み術：

狭くなった心臓の筋肉を栄養する動脈（冠動脈）を拡張する治療です。バルーンカテーテルによる治療で不十分な場合はステント（金属の管）を留置する治療を追加します。最近では再狭窄の少ないDESステントも使います。血栓が末梢に飛ばないように保護をかけるカテーテルを使うこともあります。この分野の進歩は日進月歩であり最新の器具を採用して治療を行っています。

b) 急性心筋梗塞における血栓溶解療法とP T C Aの組み合わせ治療：

閉塞した血管を少しでも早く血液の通う状態に復帰させるために冠動脈形成術（P T C A）の前に血栓溶解療法を追加しています。必要な場合には血管につまった血栓（血液の固まり）を吸引する治療を行います。

c) 不整脈管理の最新治療：カテーテル・アブレーション、植え込み型除細動器：

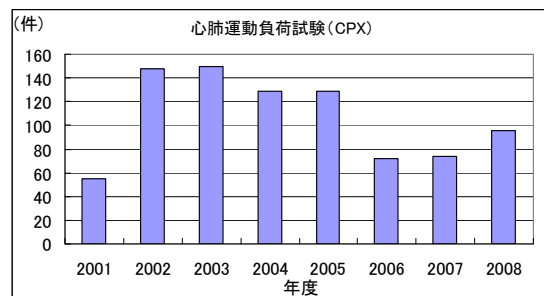
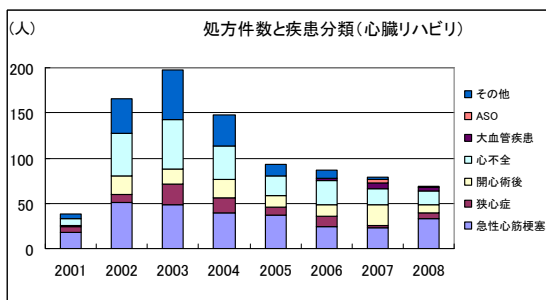
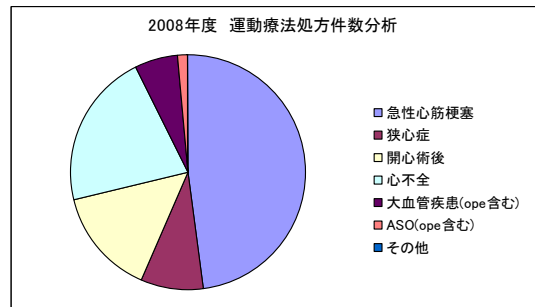
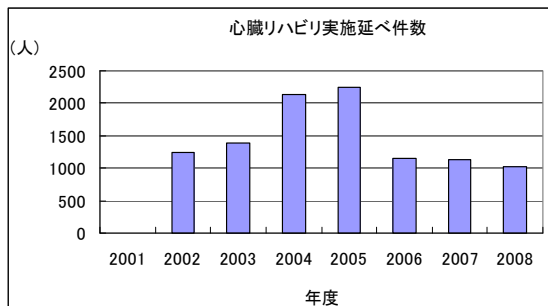
不整脈治療は、個々の患者さんの病状に応じた治療を選択しております。不整脈に応じ、適切な抗不整脈薬を選び、病状に応じて、不整脈の原因になる心筋の一部を高周波（電気）治療し、不整脈を根治するカテーテル・アブレーションを行います。カテーテル・アブレーションはカルト、エンサイトシステムも活用し、慢性心房細動、器質的心疾患に伴う心室頻拍まで適応を拡大しています。また、致死的心室性不整脈症例に対しては、うえこみ型心臓除細動器（I C D）手術も施行します。

d) CRT-D

各種治療抵抗性心不全例に対しては、合併する左心室壁運動のずれを両心室ペーシングにて補正する心臓同期療法手術（CRT）を導入し、致死的心室性不整脈の合併例には、ICD機能を持つタイプ（CRT-D）の植え込みを行います。

e) 心臓リハビリテーション：

心臓病については心不全であっても今は運動療法を行うことが重要かつ重要と考えられています。安全性、効果については十分検討されており、いまや遺伝子レベルでの効果発現も明らかになりつつあります。また、今年度の診療報酬改正にて、対象疾患が、急性心筋梗塞、狭心症、開心術後（冠動脈バイパス術や弁置換術など）だけでなく、大血管疾患（解離盛大動脈瘤術後など）、慢性心不全（左室駆出率<40%、BNP>80pg/ml など）、末梢動脈性疾患も加わりました。当院ではこの運動を治療として大いに取り入れています。入院前の活動や退院後の活動希望調査を行い、運動療法を進めていきます。そして、トレッドミルや心筋シンチ、心肺運動などの負荷試験を施行し、その結果を用いて運動処方を作成し、より具体的に個別指導を行います。さらに、運動療法を中心に、2次予防のための教育を行い、安心して退院後の生活が遅れるよう、近い将来希望されていること（例えば、復職、旅行や趣味、ボランティアの活動など）が達成できるように、指導、支援しています。今年度は、理事を務める「日本心臓リハビリテーション学会」の第14回総会の会長を行い、日本循環器学会の「心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン（改訂版）」も、班長としてまとめることができました。



f) 心臓血管外科：

北野病院心臓センター内に外科治療部門である心臓血管外が開設されてから2年半が経過いたしました。当センターが他院と大きく異なる点は、内科医と外科医が常に同じ空間で、同じ目線で、循環器疾患に患っている患者様に対して最良・最適な検査・治療を選択すべく、内科・外科の垣根なく日々検討を行っていることです。手術

後の患者さまであってもその治療内容が内科的なものが主体であれば、内科医が担当医に加わり治療に当たることもしばしばです。
外科医は内科的センスを身につけ、内科医は外科治療の適応・内容について造詣を深めることが、治療の幅を拡げ内科／外科の医療技術を双方向性に琢磨することが出来、その結果として患者さまへ還元できると確信しております

現在施行可能な手術対象疾患と手術内容は、下のとおりです。

1. 狭心症、心筋梗塞

多枝病変、左主幹部病変などの内科的治療が困難な症例に対し、冠動脈バイパス術を行います。人工心肺を用いたバイパス手術だけでなく、人工心肺を用いない、より侵襲の少ない心拍動下冠動脈バイパス術も行っています。人工心肺の使用の有無は、患者さまの状態に応じて決定しています。

2. 弁膜症

心臓内で血液の流れを制御している4つの弁（大動脈弁や僧帽弁など）の狭窄や閉鎖不全に対して内科での心不全治療が困難な例に対し、人工弁に置き換える弁置換術や自分の弁を修復する弁形成術を行っています。僧帽弁に対しては形成術を第一選択としています。人工弁には機械弁と生体弁とがあり、両者の利点と欠点を把握したうえで患者さまの年齢等を考慮し、使い分けています。また、弁膜症に合併した心房細動という不整脈に対するメイズ手術も積極的に併用しています。

3. 胸部大動脈流、腹部大動脈瘤

高血圧、動脈硬化が原因で動脈が瘤状に拡張してしまう病気です。通常は無症状であることが多く日常生活に支障をきたしません、径が5cmを超えると破裂し大出血を起こし致命的となる危険性ははらんでいます。手術はこの破裂を未然に防ぐ予防手術であり、人工血管による置き換え（置換術）を行います。

4. 急性大動脈解離（解離性大動脈瘤）

主に高血圧が原因で大動脈の内膜が裂けてしまう病気で、激しい胸痛ないしは背部痛で発症します。裂けた部位によっては放っておくと二週間以内に半数以上の方が死亡すると言われていています。裂けた大動脈の部位に応じて、血圧を下げることを主体とした降圧治療や緊急手術（人工血管置換術）を行います。

5. 下肢閉塞性動脈硬化症

動脈硬化によって血管が細くなり血流が落ちてしまう病気で、下肢の冷感、歩行時のしびれや疼痛が主な症状です。狭窄を来たした部分や患者さまの症状に応じてカテーテルを用いて動脈を拡げたり（内科）人工血管を用いたバイパス術（外科）を行っています。

2008年度に施行した全身麻酔症例数は68例で、内訳は以下のとおりです。

冠動脈バイパス術：17例、心臓弁膜症：15例、胸部大動脈瘤：6例、その他心臓手術：6例、腹部大動脈瘤：14例、末梢血管：10例

○非開心術；24件

腹部大動脈瘤人工血管置換術；14件

閉塞性動脈硬化症 F-F バイパス+F-P バイパス；10件

○心臓・胸部大血管手術；44件

on-pump CABG（体外循環使用心停止下）；8件

AVR；8件

AVR+CABG；3件

(3) 循環器科の特徴

心臓病は症状が突然出現して緊急の治療が必要になることが多いという特徴があります。これはまた、治療を過たなければ、急速に改善することも意味します。このため、当院循環器科では、緊急対応には万全を期しており、止った心臓でもPCPS、IABPという機械を使用して救う意気込みで、最新の治療を、最高のレベルで提供するように努力しています。さらに心筋梗塞、心不全というような生命に関わる疾患でも、運動療法を取り入れ予後と、QOLの改善に努力しています。「予防、そして緊急から慢性期まで」全てをこなせる循環器科が当院循環器科のモットーです。この戦略が実現しつつあります。

(4) 科の実績

診療体制

a) 外来診療

<外来担当表 (2008年4月~8月)>

	月	火	水	木	金	土
1診	猪子	野原	野原	永井	猪子	交替 第5週: 衣川
2診	宮本	中野(AM) 春名(PM)	安部 佐々木	中根	中川	
他 [午後]			植山 (心外)		ペースメーカー外来 宮本(1回/月)	

<外来担当表 (2008年9月~12月)>

	月	火	水	木	金	土
1診	猪子	野原	野原	永井	猪子	交替 第5週: 衣川
2診	宮本	春名	中根	安部 佐々木	中川 (宮本)	
他 [午後]			植山 (心外)		ペースメーカー外 来 宮本(1回/ 月)	

<外来担当表 (2009年1月~3月)>

	月	火	水	木	金	土
1診	猪子	野原	野原	中根	猪子	交替
2診	佐々木	春名	宮本	猪子 春名	安部	第4週: 中川 第5週: 衣川
他 [午後]			植山 (心外)		ペースメーカー外 来 春名・宮本	

4Fの心臓リハビリルームでは、外来心臓リハビリ診療も施行しています。病身連携もスムーズにすすめ、現在、逆紹介に力を注いでいます。“2人の主治医”がスローガンです。

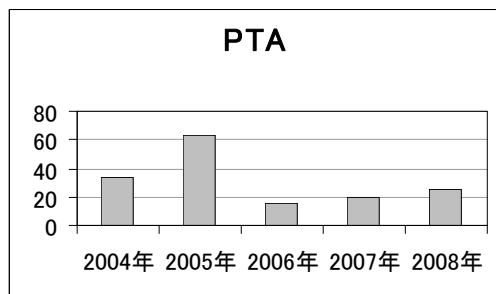
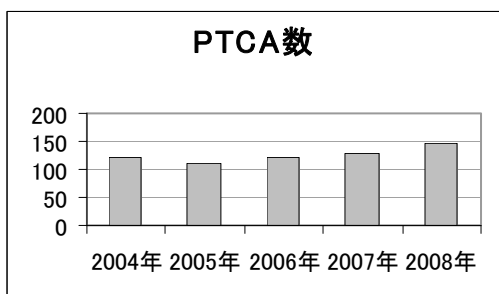
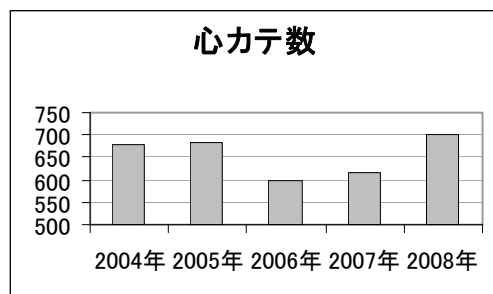
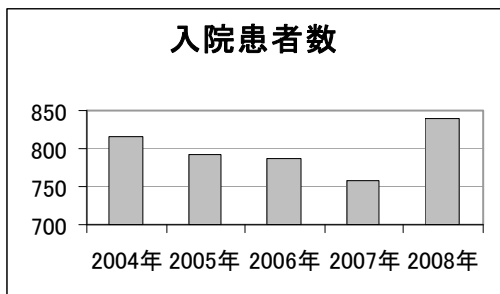
b) 入院診療 (2008.4~2009.3)

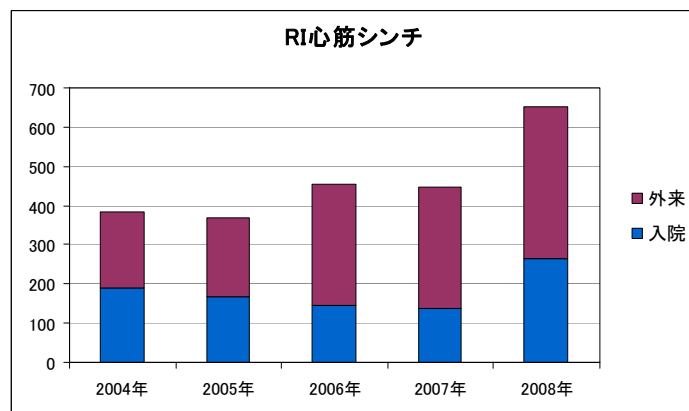
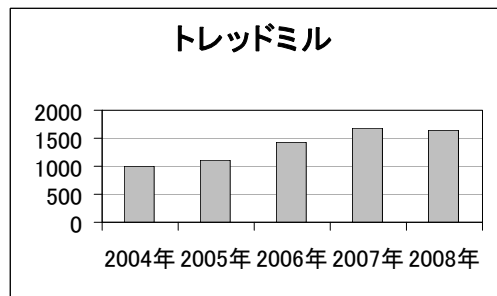
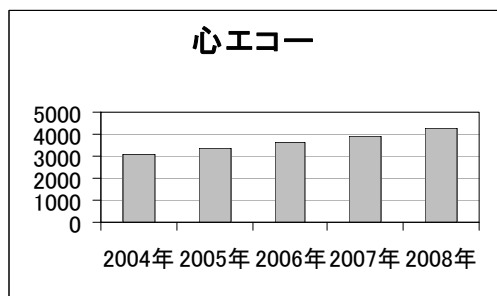
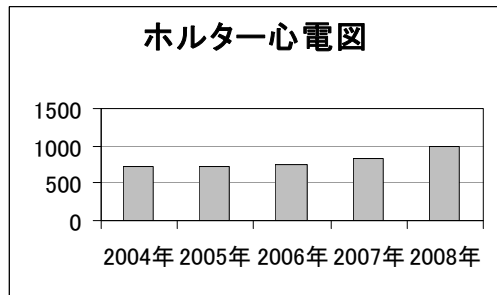
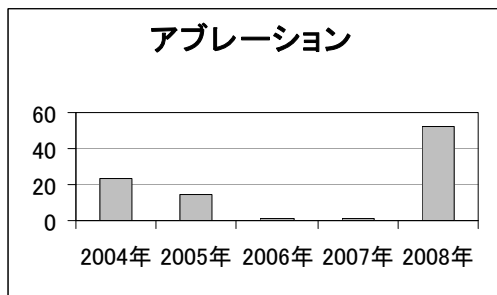
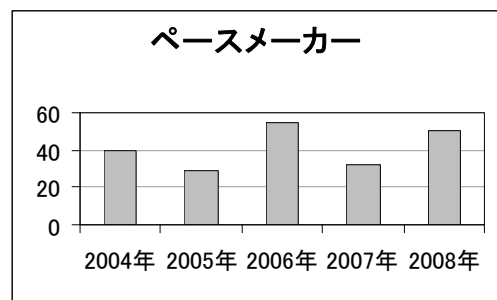
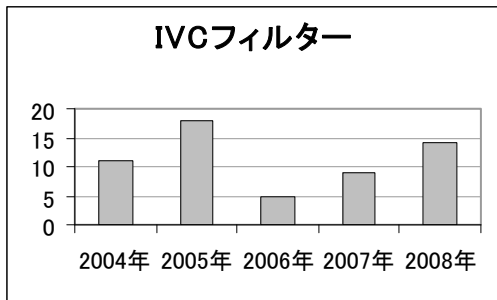
循環器科病床数：40 (CCU 4床、準CCU 2床)
入院のべ患者数：840名/年、
心臓カテーテル総数：700件/年
冠動脈造影(CAG)：408件/年 (内 緊急：68件)
PCI：148件/年 (内 緊急：44件)
PTA：25件/年、IABP：22件、PCPS：6件、
血栓防止静脈フィルター：14件、
ペースメーカー挿入 (入れ替えを含む)：50件/年、
アブレーション：52件/年、EPS：54件/年、
心臓運動療法：のべ1027件/年、
心肺運動負荷試験 (CPX)：96件/年
RI心筋シンチ：265件 (入院)・386件 (外来) /年

c) 検査スケジュール

カテーテル検査 (緊急を除く)：火・水・木・金、(緊急は常時)
エコー・ホルター心電図：毎日
トレッドミル検査：月・火・水・木曜 (午後) + 金曜 (午後) 随時
RI検査：木曜 (午前) / CT検査：火曜 (午前)
BRS (圧受容体反射) 検査・心肺負荷試験：水曜 (午前)

経年的実績を以下の図で示しました。





学会

心臓センター

1. 中根英策、田中希、安部朋美、佐々木健一、宮本昌一、永井邦彦、猪子森明、上原京勲、植山浩二、野原隆司 カルベジロールは、運動療法施行患者の運動耐容能をさらに改善させる 第14回心臓リハビリテーション学会 2008.07.18-19 (大阪)
2. 中根英策、猪子森明、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、大庭宗夫、宮本昌一、春名徹也、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司 アトピー性皮膚炎の増悪に伴い心機能が悪化し、アトピー性皮膚炎の治療により心機能も改善した一症例 第187回内科学会近畿地方会 2008.11.29
3. Ryuji Nohara Novel Holter ECG for diabetes patients 6th Tawara-Aschoff-Meeting 2008/5/22 Germany (Heidelberg)
4. 野原隆司 特別講演：循環器疾患と高血圧—最新の大規模試験を踏まえて—Hypertension Seminar 2008/6/7 (大阪)
5. 野原隆司 心疾患治療と降圧薬のエビデンス Vascular Seminar 2008/6/28 (大阪)
6. 野原隆司 ファイアサイドシンポジウム2：日本における突然死の現状と対策 第17回日本心血管インターベンション学会学術集会 2008/7/3 名古屋
7. 野原隆司 特別講演：虚血性心疾患と禁煙の最新の話 北区薬剤師会生涯教育研修会 2008/7/5 大阪
8. 野原隆司 特別講演：心臓リハビリテーション—基礎から臨床まで— 第7回高松ハート・カンファレンス 2008/7/9 高松
9. 野原隆司 特別講演：心臓突然死の予知、予防—基礎から臨床まで— 高槻市医師会内科部会共催学術講演会 2008/7/26 大阪
10. 野原隆司 循環器医療における負荷試験の展望 第58回循環器負荷研究会 2008/8/2 東京
11. 野原隆司 特別講演：血管運動療法の基礎と臨床 第4回血管運動療法研究会・学術集会 2008/10/4 豊中
12. 野原隆司 特別講演：循環器疾患と高血圧—最新の大規模試験を踏まえて— Hypertension Forum 2008/10/22 大阪
13. 野原隆司 特別講演：虚血性心疾患における心臓突然死—基礎と臨床— 第5回東海心臓突然死研究会 2008/10/24 名古屋
14. 野原隆司 教育講演：動脈硬化イメージング 第48回日本核医学会・学術集会 2008/10/26 千葉
15. 野原隆司 特別講演：冠動脈硬化破綻層の発見と治療への取り組み 生活習慣病フォーラム2008～姫路ARB・脂質異常症研究会 2008/10/30 姫路
16. 野原隆司 心臓リハビリテーションとは？ 厚生労働科学研究（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）研究成果発表会 市民公開講座 2008/11/1 大阪
17. 野原隆司 特別講演：動脈硬化破綻の予知・予防 第1回北区脂質と吸収を考える会 2008/11/6 大阪
18. 野原隆司 特別講演：心不全予防に必要な降圧治療 第7回県北アンジオテンシン研究会 2008/11/14 佐世保
19. 野原隆司 日常診療における心臓病 第22回地域医師会北野病院合同勉強会 2008/11/15 大阪
20. 野原隆司 基調講演：運動療法の基礎医学；動脈硬化改善のメカニズム 予防のためのリスクマネージメントセミナー 2008/11/24 京都
21. 野原隆司 特別講演：心不全治療に必要な降圧治療～悪循環を断ち切れ！～ 和歌山心血管セミナー 2008/11/27 和歌山
22. 野原隆司 特別講演：冠動脈硬化破綻層の発見と治療への取り組み 第361回高岡市内科医会学術講演会 2008/11/28 高岡

23. 野原隆司 特別講演：心不全予防に必要な降圧治療 ～悪循環を断ち切れ！～ 第3回 医療連携学術講演会 2008/11/29 大津
24. 野原隆司 特別講演：心不全の運動療法 ―運動療法と ARB の類似性― 横浜 Night Conference 2008/12/5 横浜
25. 野原隆司 特別講演：心臓リハビリテーションの新しい潮流 ～治療・予防・撲滅～ 第38回 苫小牧リハビリテーション研究会（北海道医師会認定障害教育講座）2008/12/11 苫小牧
26. 野原隆司 特別講演：心臓リハビリテーションの ABC 第1回京滋心臓リハビリテーション研究会 2009/2/7 京都
27. 野原隆司 特別講演：心臓運動療法 ―科学として取り組む― 第2回兵庫心臓リハビリテーション研究会 2009/2/13 神戸
28. 野原隆司 特別講演：運動療法を含めた包括的医療 ―基礎と臨床― 第2回 Diet and Exercise Meeting 2009/3/6 福岡
29. Ryuji Nohara Meet the Expert 1(I) Keynote Lecture: Molecular Imaging for Arteriosclerosis The 73rd Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society 2009/3/20 大阪
30. 野原隆司 特別講演：心不全治療に必要な血圧管理 ―悪循環を断ち切る降圧療法― 医知軸会学術講演会 2009/3/27 函館
31. 猪子森明 シンポジウム2： コメディカルスタッフの新たな役割―医師の立場から― 第14回日本心臓リハビリテーション学会 学術集会 2008/7/19 大阪
32. 永井邦彦・猪子森明・宮本昌一・中根英策・安部朋美・佐々木健一・野原隆司 経機骨動脈アプローチ (TRI) による冠動脈インターベンション (PCI) は、複雑病変に対しても適応拡大可能か 第105回日本循環器学会近畿地方会 2008/6/28 大阪
33. Kunihiko Nagai, Moriaki Inoko, Shoichi Miyamoto, Eisaku Nakane, Kenichi Sasaki, Tomomi Abe, Ryuji Nohara Trans-Radial coronary intervention reduces the incidence of delirium and infection in patients with acute myocardial infarction 第17回日本心血管インターベンション学会学術集会 2008/7/3 名古屋
34. 34 春名徹也、武田晋作、天谷直貴、張田 健志、石井 充、和田 嗣業、岡田正治、羽田龍彦、小菅邦彦、池口 滋 カテーテル・アブレーションによる洞調律化は長期持続性心房細動例においても心房機能を回復するか？ 第23回日本不整脈学会総会, 2008/5/31～6/2 横浜
35. 福田 旭伸、春名 徹也、伊藤 秀裕、安部 朋美、佐々木 健一、中根 英策、宮本 昌一、猪子 森明、永井 邦彦、上原 京勲、植山 浩二、野原 隆司 拡張した左上大静脈遺残があり、アプローチ法に苦慮した心房頻拍の一例 第20回 日本カテーテルアブレーション委員会公開研究会 2008/10/15 仙台
36. 伊藤秀裕、春名徹也、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、中根英策、上原京勲、宮本昌一、植山浩二、猪子森明、永井邦彦、野原隆司 急性冠症候群に併発したVFストームの管理に塩酸モルヒネも併用した鎮静が有効であった一例 第8回難治性臨床不整脈研究会 2008/06/14(大阪)
37. 安部朋美、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、佐々木健一、中根英策、大庭宗夫、上原京勲、宮本昌一、永井邦彦、猪子森明、植山浩二、野原隆司 僧帽弁形成術後に発生した左心房中隔心房粗動に対してカルトマージ下にアブレーションを施行した1例 第9回難治性臨床不整脈研究会 2008/12/20(大阪)
38. 伊藤 秀裕、春名徹也、福田 旭伸、安部 朋美、佐々木 健一、中根英策、宮本昌一、猪子森明、永井 邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司 急性冠動脈症候群に併発した Electrical storm の治療方針決定に苦慮した症例 2nd VT university case conference
39. 伊藤秀裕、春名徹也、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、中根英策、上原京勲、宮本昌一、植山浩二、猪子森明、永井邦彦、野原隆司 硫酸キニジンがVF storm の管理に有効であったブルガダ症候群の一例 第一回 天保山ハート・カンファレンス

40. 春名 徹也 最新の三次元マッピングを使用した当院におけるカテーテル・アブレーションの紹介 第26回北野ハートセミナー 2008/9/13 大阪
41. 春名 徹也 次世代カルトマッピング使用し、カテーテル・アブレーションを施行した持続性心房細動の一例 第3回北野心臓血管疾患研究会 2008/11/8 大阪
42. 春名 徹也 北野病院における不整脈診療方針について 第16回 なにわ臨床懇話会
43. 伊藤秀裕・春名徹也・福田旭伸・安部朋美・佐々木健一・中根英策・宮本昌一・猪子森明・永井邦彦・野原隆司 急性冠症候群に併発した Electrical Storm の管理に塩酸モルヒネを併用した鎮静治療が有効であった1例 第186回日本内科学会近畿地方会 2008/9/6 京都
44. 伊藤秀裕・春名徹也・福田旭伸・松村拓朗・安部朋美・佐々木健一・中根英策・上原京勲・宮本昌一・植山浩二・猪子森明・永井邦彦・野原隆司 急性冠症候群に併発し、治療方針決定に苦慮した Electrical Storm の一例 Osaka Heart Club 循環器学術セミナー 2008/11/27 大阪
45. 福田旭伸・中根英策・猪子森明・野原隆司 機能的左室流出路狭窄を呈した心筋梗塞の一例 第7回京都心臓血管疾患フォーラム 2009/1/11 京都
46. 植山浩二 特別講演： 虚血性心疾患に対する外科治療の進歩 第2回北野心臓血管疾患研究会 2008/5/31 大阪
47. 上原京勲 一般演題： 全身倦怠感が主訴の大動脈解離 ―胸部異常陰影を元に近医より救急搬送され緊急手術となった81歳高齢者― 第2回北野心臓血管疾患研究会 2008/5/31 大阪
48. 大庭宗夫 次世代ガンマカメラ D-SPECT 第3回北野画像研究会 2008/10/18 大阪
49. 大庭宗夫 海外情報報告： 循環器医の視点から 第34回 New Town Conference -Cardiovascular Nuclear Medicine- 2009/2/21 京都
50. 宮本昌一、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中希、中島準仁、中根英策、大庭宗夫、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊 中高年齢症～中等症高血圧患者に対するオルメサルタン内服は前腕内皮機能を改善する Hypertension Today ~World Hypertension Day 記念~, 2008.5.17、大阪
51. 宮本昌一、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中希、中島準仁、中根英策、大庭宗夫、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊： 中高年齢症～中等症高血圧患者に対するオルメサルタン内服は前腕内皮機能を改善する なにわ循環器フォーラム、2008.5.27、大阪
52. 宮本昌一、猪子森明、永井邦彦、春名徹也、中根英策、安部朋美、佐々木健一、福田旭伸、伊藤秀裕、中島準仁、田中希、大庭宗夫、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊 当院での急性心筋梗塞発症 24時間以内の再灌流後からのβ遮断薬内服は生命予後を改善する 第28回急性心筋梗塞研究会、2008.7.12、東京
53. 宮本昌一、大庭宗夫、細川了平、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中 希、中島準仁、中根英策、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊： 運動ベッドを使った治療により、十分な運動困難な虚血性心疾患患者において心筋虚血・左室拡大が改善する 第14回日本心臓リハビリテーション学会、2008.7.18-19、大阪
54. 宮本昌一、大庭宗夫、細川了平、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中 希、中島準仁、中根英策、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊：へパリン前投与下での運動ベッドを使った治療は運動困難な虚血性心疾患患者の心筋虚血・左室拡大を改善させる 第7回心臓核医学ミッドサマーセミナー、2008.8.9、大阪
55. Miyamoto S, Fujita M, Nohara R, Hosokawa R, Nagai K, Nakane E, Oba M, Ueyama K, Uehara K: Novel treatment with periodic acceleration with a horizontal motion platform for anginal patients. European Society of Cardiology Congress 2008, 8.30-9.3, Munich, Germany

56. 宮本昌一、大庭宗夫、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中希、中島準仁、中根英策、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊：加速ベッドを使った治療は、虚血性心疾患患者の心筋虚血・左室拡大を改善する 第56回日本心臓病学会学術集会、2008.9.10-12、東京
57. 宮本昌一、大庭宗夫、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中希、中島準仁、中根英策、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊：ヘパリン前投与下での加速ベッドを使った治療は、虚血性心疾患患者の心筋虚血・左室拡大を改善する 第28回近畿循環器疾患治療研究会、2008.9.20、大阪
58. 宮本昌一、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中希、中島準仁、中根英策、大庭宗夫、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊：オルメサルタンはアムロジピンと比較して、軽症～中等度高血圧患者の前腕内皮機能をより改善する 第31回日本高血圧学会総会、2008.10.9-11、札幌
59. 宮本昌一、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中希、中島準仁、中根英策、大庭宗夫、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊：チエノピリジン系薬剤クロピドグレル新規処方或いはチクロピジンからクロピドグレルへの変更による安全性の検討 ACS 効能追加1周年記念セミナー、2008.10.24、大阪
60. 宮本昌一、大庭宗夫、猪子森明、春名徹也、伊藤秀裕、福田旭伸、安部朋美、佐々木健一、田中希、中島準仁、中根英策、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊：加速ベッドを使った治療は、狭心症患者の心筋虚血・左室拡大を改善する～PCI、CABGに次ぐ第3の治療 第6回新SONES会、2008.11.20、大阪
61. 宮本昌一、猪子森明、春名徹也、大庭宗夫、中根英策、安部朋美、佐々木健一、福田旭伸、伊藤秀裕、中島準仁、馬場隆行、宮崎晋一、田中希、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊：当院での糖尿病患者における急性心筋梗塞発症24時間以内の再灌流後からのスタチン内服は生命予後を改善する可能性がある 第7回糖尿病と心血管病カンファレンス、2009.1.24、大阪
62. 宮本昌一、猪子森明、春名徹也、大庭宗夫、中根英策、安部朋美、佐々木健一、福田旭伸、伊藤秀裕、中島準仁、馬場隆行、宮崎晋一、田中希、上原京勲、植山浩二、野原隆司、藤田正俊：鬱血性心不全患者における睡眠姿勢による自律神経活性への影響 第5回高脂血症・高血圧談話会、2009.2.28、大阪
63. 福田旭伸、春名徹也、伊藤秀裕、安部朋美、佐々木健一、中根英策、宮本昌一、猪子森明、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司 急性心筋梗塞に合併した左室流出路狭窄の一例 第3階枚方公済病院、北野病院合同症例検討会 2008/5/22 (大阪)
64. 福田旭伸、春名徹也、伊藤秀裕、安部朋美、佐々木健一、中根英策、宮本昌一、猪子森明、永井邦彦、上原京勲、植山浩二、野原隆司 経管的動脈管開存閉鎖術を施行した2例 第32回大阪循環器専門医フォーラム 2008/09/25(大阪)

論文

1. 田中希、中根英策、安部朋美、佐々木健一、宮本昌一、永井邦彦、植山浩二、猪子森明、野原隆司 BRS(Baroreflex Sensitivity)と拡張不全患者の運動耐容能低下の関係 心臓リハビリテーション 13(2):348-350, 2008
2. 野原隆司「呼吸・循環障害のリハビリテーション」心臓リハビリテーションの実際 心筋梗塞(急性期) Journal of Clinical Rehabilitation 別冊呼吸・循環障害のリハビリテーション:254-262, 2008
3. 三谷智子、藤田正俊、小川久雄、木下法之、水重克文、奥村謙、木原康樹、竹石恭知、野原隆司、宮崎俊一、三國谷淳、李鐘大、平井忠和、渡邊能行 たこつぼ心筋症患者の心理社会的特性に関するケース・コントロール研究 心臓 40(12):1081-1086, 2008
4. 猪子森明 コメディカルスタッフの新たな役割ー医師の立場からー 心臓リハビリテ

シヨン 14(1):62-64, 2009

5. 宮本昌一, 細川了平和, 猪子森明, 永井邦彦, 中根英策, 安部朋美, 佐々木健一, 中島準仁, 田中希, 上原京勲, 植山浩二, 野原隆司, 藤田正俊 運動ベッドを使った治療により、心筋虚血・心不全が改善した慢性心不全・陳旧性後側壁心筋梗塞患者の1例 心臓40(Suppl. 2), 26-28, 2009
6. Haruna T, Ikeguchi S, Takeda S, Amaya N, Kosuga K. An aggressive strategy for maintenance of sinus rhythm including a combination of catheter ablation and antiarrhythmic drug therapy benefits patients with chronic atrial fibrillation. Journal of arrhythmia in-press 2009
7. Terunobu Fukuda, Tetsuya Haruna, Hidehiro Ito, Kenichi Sasaki, Tomomi Abe, Eisaku Nakane, Shouichi Miyamoto, Kyoukun Uehara, Muneo Ooba, Kouji Ueyama, Moriaki Inoko, Ryuji Nohara. A case of atrial tachycardia arising in a patient with the Persistent Left Superior Vena Cava. Journal of arrhythmia in-press, 2009
8. Seiko Oda, Tomoyuki Oda, Satoshi Takabuchi, Takuhiko Wakamatsu, Tomoharu Tanaka, Takehiko Adachi, Kazuhiko Fukuda, Ryuji Nohara, Kiichi Hirota The calcium channel blocker cilnidipine selectively suppresses hypoxia-inducible factor 1 activity in vascular cells. European Journal of Pharmacology : in print
9. 伊藤 秀裕、春名 徹也、福田 旭伸、松村 拓朗 安部 朋美、佐々木 健一、中根 英策、上原 京勲、宮本 昌一 植山 浩二、猪子 森明、永井 邦彦、野原 隆司 急性冠症候群に併発し、治療方針決定に苦慮した Electrical storm の一例 Osaka Heart Club Vol. 32; p5-10